

# 異業界を経て来た 私が「空間」を触ったら こんなデザインになります。

巻頭で登場のご兩人だけではなく、現在「空間」に携わる肩書きを持ったデザイナーは数多存在する。その職に到達するのに、学校に通い→弟子入り→デザイン事務所就職ってのは業界スタンダードなのかもしれない。が、京都には様々な業界のうま味を吸収し→空間に携わる方々が事実いるのだ。美容業界から、イラストレーターから、施工側の厨房屋から、そして飲食業界から。そんな畑違いの4業界で、経験を持つ4名の空間造形人をピックアップ。



## THIS MONTH TOP NEWS



「この店は自分の原点」と3年前はイメージしたデザインに出来なかった自分がいたそうで、今ではそれが可能or不可能か、成長の物差しになるのだとか。米光氏がプロデュースと言った形で着手した1号店がこの今はなき「恋文家」

●恋文家



「店舗アドバイザーとして着手しました」とココを機に「デザイナーも『ダスキン』のマット白or黒どちらがいいですか?」みたいな、デザインだけではなく店舗全般の相談役(顧問)としても務められる」と次に繋がる自信を倍増させた店舗だとか

●HOT STYLE

京都市下京区大宮高辻西入ル102-7 1F

「建築デザインの先生はその世界の『大病院の院長!』。僕らはそれとは違った『町医者』みたいなもん」と語るモッサイ社の米光氏。いわゆるよく聞く「作家風を吹かず自我イメージ突貫型」とは違う。「外観が何となく気に入らない!」との発注に、カッティングシートで工夫して集客力UP!!させたり。町の看板屋と建築会社の「隙間」で、ニーズによって彼曰く「得意技を変化させるのが『得意技!』」で突き走るカメレオンデザイナーだ。抽斗がなければ抽斗を拵えたり、町場の泥臭さをイラストで表現したり…。だから彼の名片には「地域密着デザイナー」と肩書きが付いている。

●米光正彦 YONEMITSU MASAHIKO

'95年京都造形大卒業後、某有名建築家に弟子入りし2年後、24歳で人間的に生きることと建築業界に見せずドロップ。イラストを描く趣味が高じて'97年イラストレーターとして独立。宝くじのイラストが好評を博し発注が増え、'98年に「モッサイ社」を相棒石田氏と創設。'00年「恋文家」'01年「HOT STYLE」.'03年11月河原町五条の「三里舞味」に手を加える

【ブライズ】

依頼内容によります(最小単位は5万円、暖簾一つの変換も請け負う)

デザイン事務所 モッサイ社  
■京都市右京区西京極堤町27 中村荘1-2  
075-323-6899  
<http://kyoto.cool.ne.jp/mossaisha>



看板屋と建築家の隙間で息づく、  
地域密着デザイナー



「中庭のあるサロン」がイメージ。約1年かけ隈無く京都市内で町家を探した清田氏経営のサロン。この経験から土地&建物をトータルで考える魅力に駆られ、その後全店舗&全住宅にそれを反映させるのがポリシーになったのだとか

●Beige

京都市東山区祇園町南側506番地2



「優しさ・癒し」をテーマにデザインから施工までを行った「村田治療院」,木の温もりを生かすべく散えて金属製サッシを嵌め込まず、全て木製の窓枠にするなどの徹底ぶりは、あくまでも人に優しい空気感。エントランスにはテラコッタの敷石に木製引き戸を使用するなど遊び心もたっぷり。P45「ひょうたんからコマ」に掲載

●無痛バランス治療 村田治療院

京都市左京区松ヶ崎堀町1-6

「空間も髪の毛を切ることと同じ」と言うのは、祇園・伏見のサロン「Beige」のオーナー清田見氏。自店のデザインを手掛けたことを機に、この業界に参入し、現在までに5店舗を手掛ける美容師兼空間デザイナーだ。そのプランニングは、美容業界で培ったノウハウと類似する。施主のライフスタイルを考察し、木・石・土などで自然の温もりをふんだんに盛り込む。質感(=手触り)を天然素材で表現し、フォルム(=髪型)を空間で創出する。彼にとって双方は、切っても切れないナチュラルな表現物。

●清田晃 KIYOTA AKIRA

'93年「mod's hair」に22歳で入社。'00年28歳で退社し、同年「Beige」をデザインしオープン。この頃から空間デザインを手掛け始める。'02年自らのデザインで「Beige cafe」を、同時期にこちらも自らのデザインで「Beige伏見店」をオープン

【ブライズ】

予算との折り合いを付ける値段設定。基本的に「言い値」

有限会社 OFFICE Beige  
■京都市東山区祇園町南側506番地2  
075-532-0389



鉄と空間でナチュラルに美容するデザイナー



# 京都一大家族のオヤジな存在

## 内装デザイナー



# 自店で体現したデザインを 活かす、飲食店舗デザイナー



●6552 京都市中京区堀町六角下ル  
甲屋町3901 KKLHビル4F

米製コンセント、錆なども質感を細部に渡って、オーナーの希望に近づけることに執着したこちら。オーナーの辻野氏曰く「如何にもフレンチとかアラブとかじゃ無い空気感を出して貰って、いいバランスがとれた」と顔が綻ぶ仕上がり



「原をイメージして欲しい」との実家が菓子屋のオーナーからのオーダーに座卓を扇型にしたり「狭い部屋への入口を狭めるだけ決めて」と、遊び心と紙一重のラインで工夫してみた店舗

●晚boo  
京都市東山区東山  
三条東入ル南側

建築家・デザイナーが頭を捻ったイメージを上枝氏は「厨房屋」と言う立場で形にしてきた。それはシンクや冷蔵庫などを設備する専門職。そこからの絵はいつもスタッフ側から空間を見た「厨房で働く」視点だった…。その現場の経験則から「使い手側に向けて知恵を反映できる、施行のプロとファミリーを生みたい」と始めた内装デザイナーには「リーダー」の肩書きを冠した。その結果招集した電気屋・水道屋・工務店などは、「この主にして瓜二つな店舗あり」な完成を見せる。家族で生み出す店舗は、氏にとって愛娘・せがれ同然。

### ●上枝敏彦 UEEDA TOSHIHIKO

高校卒業後、3年程サラリーマンを経験。その後京都のスーパーで8年働き、冷蔵庫など厨房機材を専門に扱う会社に転職。そして「厨房屋」としてプロとなり、ファミリーとなるべく施行の専門家に声を掛け、'95年「C.Sネットワーク」を設立。現在では10人程の同士（＝戦友）で活躍。（左側）上枝氏（右側）「teene」代表辻野氏【プライス】安物ではない、安価。

### C.Sネットワーク

■京都市右京区嵯峨中又町7-26 ☎075-864-6885 090-1115-0366



「この場所の前店『鱈』とは全く違うイメージ、でもココの再改装で他府県とは違い、京都は内装を入れ替えるのと同じ位、一つの店舗を継続することも必要だと学んだ」と、計り知れない京都の奥深さを痛感した自店にして、ココは彼の教科書のような存在

●DINNIG KITCHEN 10.10  
京都市中京区東洞院  
六角下ルロイヤルプラザ2F



「6m位の一枚板を仕込んだり、ウイスキー山崎のラベルの和紙を障子に貼ったり」と施主の自店への思い入れは、幸喜氏としても自らが手掛ける「10.10」「月光酒蔵」に活かせるようなヒントを授けて貰った店舗

●山水  
京都市中京区油小路通御池上ル  
ジオバーネ高橋1F

「自らが手掛けて、安く仕上げてやろう」と、半ば強引にも聞かせる企みがこの世界に紛れ込んだきっかけ。リ・デビュー&デビューを促した店舗&住宅は約100軒にも及ぶ。かといって右から左に都合良くこれだけの数のオファーを受けるのは不思議だ。なら氏はどんな布石を打ったのか？ それは己の手でデザインから解体、施工に至るまで全てに絡んで抱えた自店の3軒を通じ、「流行る方程式を自らの店舗で毒味」をした結果の絡繰りだ。結果、全て独学。それが、東洞院六角で「10.10」を構える幸喜氏のひ・み・つ。

### ●幸喜寛和 KOUKI HIROKAZU

高校卒業後沖縄に砲一つで発ち、スキューバダイビングのガイドを経て、'87年「フロントボーチ」で飲食業界に入る。'92年木屋町のBAR「レイオーバー」で独立し、このころから自店の修繕・改築を始める。'97年自らデザインし施工した「鱈」「月光酒蔵」を出店。'02年「鱈」を改装し「10.10」を出店【プライス】予算に応じます。（昔、坪単価20万円程で請け負った経験アリ）

（有）亜細亜創芸 ☎075-353-6949 090-1913-8421

## 京都嵯峨嵐山

### 第五回

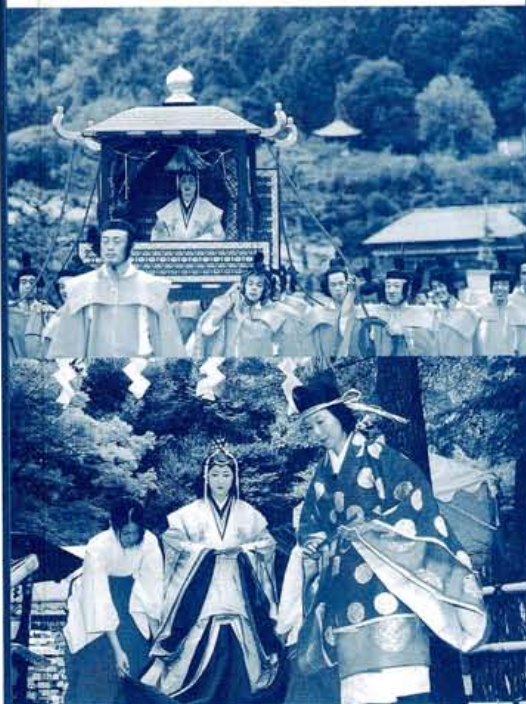
# 斎宮夢行列

平安絵巻が  
渡月橋を渡る

平成15年  
10月19日(日)12時  
野宮神社 出発  
(小雨決行)

野宮神社→JR嵯峨嵐山駅前  
→渡月橋→保津川川岸  
(御祓の儀)

■主催/斎宮行事保存会  
嵐山商店街  
嵯峨商店街



—源氏物語 恋の神様—

ののみや  
嵯峨野の宮 野宮神社

〒616-8393 京都市右京区嵯峨野宮町一  
TEL.075(871)1972

E-mail kakeno@jinja.or.jp

ホームページ http://www.nonomiya.com